

# 「病院機能評価」の認定を受けました

市立中央病院では、平成18年11月20日付で財団法人日本医療機能評価機構から、病院機能評価 (Ver.4) の認定を受けました。

認定シンボルマーク



## ●病院機能評価とは

患者さんや市民の皆さんが優れた療養環境で質の高い医療が受けられるよう(財)日本医療機能評価機構が、病院機能の評価を行うものです。

この評価は、各病院の優劣を比較するものではなく、一定の評価基準を設けることで各病院が質の高い医療サービスの充実につなげていくことを目的としています。

「病院機能評価」は、市民の皆さんにはあまりなじみのないことと思います。少し意味合いが異なりますが、例えばホテル・旅館などの「マル適マーク」に類似したものと思えばその意味がお分かりかと思えます。

## ●認定を受けるまでの経緯と取り組み

### 1. 平成16年7月受審申し込み (書面審査)

- ・受審対策委員会の立ち上げ
- ・患者さんがより優れた療養環境で質の高い医療を受けられるよう病院全体の見直しを行う

### 2. 平成17年5月受審 (訪問審査)

- ・改善要望事項の取り組みを行う

### 3. 平成18年11月20日認定

- ・診療部門・看護部門・事務管理部門の評価結果、一定の評価基準を満たしたとして「認定」を受ける

※認定を受けたのは、病院職員が一丸となって取り組んだ結果の表れと思います。今後はさらに地域住民のために質の高い医療サービスを行っていく所存です。



問い合わせ先 業務課(☎5121内線606)

## 平成17年度 介護保険事業特別会計決算状況

問い合わせ先 介護保険課(☎5111内線294)

歳入 (単位：千円)	
款	収入額
支払基金交付金	1,466,913
国庫支出金	1,178,079
繰入金	735,199
保険料	679,710
県支出金	611,091
市債	122,000
繰越金	48,162
使用料及び手数料	203
諸収入	54
財産収入	0
計	4,841,411

歳入の「市債」とは、介護保険料収入に不足が生じた分を県から借り入れたお金です。平成17年度末で借り入れ残高は3億8,275万円あります。このうち、3億6,500万円を平成18年度～20年度に返済するため、介護保険料には、借入金返済分として月734円が含まれています。

歳出 (単位：千円)	
款	支出額
総務費	133,858
保険給付費	4,507,578
財産安定化基金拠出金	3,767
公債費	28,614
諸支出金	51,068
基金積立金	0
予備費	0
計	4,724,885
差引(剰余金)	116,526

歳出の「保険給付費」の主なもの、居宅サービス(ホームヘルパーによるサービスや通所サービスなど)24億6,436万円、施設サービス費(特別養護老人ホームなど)19億3,174万円です。

歳出の「公債費」とは、平成12年度～15年度に県から借り入れた分を返済しているお金です。

剰余金のうち、1億1,381万円は国・県などからの交付金の精算により返還するお金で、実質的な剰余金は271万円です。介護保険には、介護保険料の収入不足に備えるため、実質的な剰余金を積み立てておく基金が設けられています。基金の残高は271万円です。

## ●サービス費用と保険給付●

介護保険のサービスを利用した場合、利用者は原則として1割を負担し、残り9割は市から保険給付として各サービス提供事業者を支払われます。いくつかの居宅サービスを例にとると、次のようになります。(要介護1～5のかた)

※保険給付の財源の一つは保険料です。適正なサービス利用に努めましょう。

		サービス費用	利用者負担	保険給付
訪問介護 (ホームヘルプ)	身体介護 (30分以上1時間未満)	4,020円	402円	3,618円
訪問看護	訪問看護ステーションから(30分未満)	4,250円	425円	3,825円
通所介護 (デイサービス)	6時間以上8時間未満	6,770円～11,250円 (送迎含む、食事代別)	677円～1,125円	6,093円～10,125円
通所リハビリテーション	6時間以上8時間未満	6,880円～13,030円 (送迎含む、食事代別)	688円～1,303円	6,192円～11,727円